

科目名	地域・在宅看護総論				
担当講師名	田中千恵子	所属・役職	看護教員	資格・免許	看護師
担当講師名	佐藤美代子	所属・役職	二戸病院 看護師長補佐	資格・免許	看護師
担当講師名	堀野 正子	所属・役職		資格・免許	保健師
担当講師名	中野 亮子	所属・役職	看護師	資格・免許	看護師
担当講師名	下田 勇子	所属・役職	湯の里にのへ係長	資格・免許	看護師
担当講師名	中田 勇司	所属・役職	いつつ星会理事長	資格・免許	社会福祉士 介護支援専門員
担当講師名	小野寺幸司	所属・役職	かろへア権利擁護 支援センター 所長	資格・免許	社会福祉士 介護福祉士 介護支援専門員
授業形態	講義・演習	単位数・時間数	2 単位 30 時間	開講年次	1 学年前期
講義の概要	<p>人々が生活する地域・在宅という環境において、対象者の「生きること」を支えるという看護の基本となるものを学習することが大きなねらいである。</p> <p>病気になっても可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築が推進されている。</p> <p>増加する地域・在宅ケアニーズに対応した看護を提供するために、地域・在宅看護の特徴と地域で生活する人の生活状況がイメージでき、その対象者の理解、対象者、家族の心理状況や看護の実際の理解、利用できる制度等の理解につなげる。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域・在宅看護の概念について理解する</li> <li>・多様な場でその人らしい暮らしを支える看護師の役割について理解する</li> <li>・在宅に療養している人々とその家族を理解し、在宅での看護の基礎がわかる</li> <li>・地域で療養する人とその家族を支える法令や制度を理解する</li> </ul>				
講義回数	講義内容				
1	地域・在宅看護の概念 目的と特徴・在宅看護の役割と機能・倫理 地域・在宅看護の対象 対象者（療養者・健康な人含む）の特徴・家族の理解			講義	教員
2	地域における暮らしを支える看護 在宅看護の基本となるもの 看護実践方法の広がり ライフステージと暮らし 地域での暮らしにおけるリスク・災害対策			講義	教員
3	在宅看護を支える制度とシステム① 1) 訪問看護ステーションの仕組み 2) 訪問看護と介護保険制度、医療保険制度、障害者福祉制度との関係 3) 事例をもとに制度について考える			講義 演習	教員

科目名	地域・在宅看護総論		
4	在宅看護を支える制度とシステム② 1) 訪問看護と難病法 2) 医療介護総合確保推進法 3) 医療法 4) 事例をもとに制度について考える	講義 演習	教員
5・6	在宅から病院、病院から在宅への橋渡し 1) 入院支援 2) 退院調整と退院支援 3) 継続看護 4) 事例をもとに橋渡しについて考える（困難事例）	講義 演習	入院・退院 調整担当者
7・8・9	地域包括支援センターの活動 1) 地域包括支援センターの活動と役割 地域包括ケアシステム 介護予防ケアプランの作成の実際（フレイル、困難事例） ケアマネジャーの活動 1) ケアマネジメントと社会資源の活用 2) ケアマネジャーの活動と役割 サービス担当者会議の目的とサービスの調整の実際	講義 演習	外部講師
10	家族の理解 家族発達理論・家族システム理論、ジェノグラム、エコマップ	講義	教員
11	家族支援：GW	演習	教員
12	在宅療養支援	講義	外部講師
13	在宅療養支援	講義	外部講師
14	在宅療養支援	講義	外部講師
15	権利擁護	講義	外部講師
教科書等	「地域・在宅看護の基盤」医学書院 「地域・在宅看護の実践」医学書院 適宜、資料配布		
成績評価方法	出席、授業参加状況、課題、試験等により総合的に評価する。		
履修上の留意点	既習学習の知識をふまえ、授業に臨む。		
特記事項			